

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月9日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL <https://www.advanex.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 精也
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部長 (氏名) 吉原 哲也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,416	△19.6	△296	—	△266	—	△422	—
2020年3月期第2四半期	10,473	△0.1	150	—	47	△49.1	△117	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △380百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △476百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△103.17	—
2020年3月期第2四半期	△28.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,065	4,577	21.6
2020年3月期	22,125	4,998	22.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,552百万円 2020年3月期 4,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	△14.0	△50	—	△50	—	△100	—	△24.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	4,153,370株	2020年3月期	4,153,370株
2021年3月期2Q	61,004株	2020年3月期	60,862株
2021年3月期2Q	4,092,424株	2020年3月期2Q	4,093,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、4～6月においては新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い世界各国で入国制限や外出制限など行動の自粛が求められ、個人消費が著しく悪化するなど極めて厳しい状況でしたが、7～9月からは経済活動規制の緩和や主要国での財政出動が奏功したこともあり回復基調となりました。このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比19.6%減の84億16百万円となり、営業損失は2億96百万円（前年同四半期は1億50百万円の利益）、経常損失は2億66百万円（前年同四半期は47百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億22百万円（前年同四半期は1億17百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 日本

特に自動車、OA機器向け需要減少の影響が大きく、売上高は前年同四半期比17.4%減の35億10百万円、セグメント損失は1億81百万円（前年同四半期は36百万円の損失）となりました。

② 米州

特に自動車向けの需要が減少したことに加え、メキシコ工場がメキシコ政府の指示により約2ヵ月ほど閉鎖したことなどから、売上高は前年同四半期比22.2%減の9億17百万円、セグメント損失は1億63百万円（前年同四半期は1億32百万円の損失）となりました。

③ 欧州

規格品の需要が減少したことなどから売上高は前年同四半期比8.3%減の9億30百万円となりました。セグメント利益はイギリスにおいて生産体制を合理化したことなどから同45.5%増の69百万円となりました。

④ アジア

特に自動車、OA機器向け需要減少の影響が大きく、売上高は前年同四半期比24.1%減の30億58百万円、セグメント損失は37百万円（前年同四半期は2億83百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億59百万円減少し、210億65百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が8億46百万円減少し97億19百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が3億26百万円、受取手形及び売掛金が3億59百万円、たな卸資産が16百万円及びその他の流動資産が1億40百万円減少したことによるものであります。また、固定資産合計額は2億12百万円減少し、113億46百万円となりました。有形固定資産が1億90百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額は164億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億38百万円減少しました。主な理由は、支払手形及び買掛金が4億29百万円、借入金が2億37百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が45億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億21百万円減少しました。主な理由は、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の発生等により株主資本合計が4億54百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は21.6%（前連結会計年度末は22.4%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億4百万円減少し、17億66百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金が4億15百万円増加(前年同四半期は4億円の資金増加)しました。

主な収入要因は、売上債権の減少による資金増加が3億73百万円及び減価償却費による資金留保6億5百万円によるものです。主な支出要因は、仕入債務の減少による資金減少4億42百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金が2億45百万円減少(前年同四半期は12億39百万円の資金減少)しました。

主な支出要因は、当社及びグループ会社における設備投資3億78百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金が3億57百万円減少(前年同四半期は5億47百万円の資金増加)しました。

主な支出要因は、有利子負債の減少2億74百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の動向は、新型コロナウイルス流行の収束は見え、第二波、第三波のおそれもあるなど予断を許さない状況が続くと見られていますが、一方で下期は主要市場である自動車向けが回復する兆しがあるなど、当連結会計年度内には業績の改善が進んでいくものと見ています。

このような大変厳しい事業環境の中、今期連結会計年度の業績見通しにつきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高は183億円、営業損失は50百万円、経常損失は50百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は100百万円となる見込みです。

当社グループは引き続き自動車、医療、インフラ・住設などの市場に注力しつつ、海外拠点の見直しも含めた再編やガバナンスの強化などの企業体質の強化を図っていきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,777,032	2,450,623
受取手形及び売掛金	4,170,246	3,810,565
商品及び製品	1,371,370	1,332,776
仕掛品	676,406	729,934
原材料及び貯蔵品	880,321	849,251
その他	704,258	563,376
貸倒引当金	△13,399	△16,892
流動資産合計	10,566,235	9,719,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,147,878	4,017,474
機械装置及び運搬具(純額)	3,694,749	3,596,802
土地	1,270,191	1,271,960
その他(純額)	1,753,844	1,789,904
有形固定資産合計	10,866,663	10,676,141
無形固定資産	88,312	73,835
投資その他の資産	604,173	596,192
固定資産合計	11,559,150	11,346,169
資産合計	22,125,385	21,065,805
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,901,538	2,471,571
短期借入金	2,429,580	2,393,608
1年内返済予定の長期借入金	2,979,445	2,778,052
リース債務	115,244	140,873
未払法人税等	101,056	96,514
賞与引当金	193,547	123,060
製品保証引当金	67,993	69,405
その他	1,078,547	1,088,336
流動負債合計	9,866,951	9,161,422
固定負債		
長期借入金	4,900,191	4,900,528
リース債務	767,746	833,077
繰延税金負債	237,350	239,616
資産除去債務	51,348	51,402
退職給付に係る負債	1,295,934	1,292,176
その他	7,511	10,353
固定負債合計	7,260,083	7,327,155
負債合計	17,127,035	16,488,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	4,610,760	4,148,082
自己株式	△105,954	△97,460
株主資本合計	5,754,805	5,300,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△797	△472
為替換算調整勘定	△705,409	△681,904
退職給付に係る調整累計額	△83,608	△65,254
その他の包括利益累計額合計	△789,815	△747,630
新株予約権	33,360	24,235
純資産合計	4,998,350	4,577,226
負債純資産合計	22,125,385	21,065,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	10,473,361	8,416,270
売上原価	7,959,987	6,681,204
売上総利益	2,513,373	1,735,066
販売費及び一般管理費	2,362,890	2,032,014
営業利益又は営業損失(△)	150,483	△296,948
営業外収益		
受取利息	11,516	11,235
受取配当金	1,846	2
受取賃貸料	25,919	31,505
為替差益	—	27,618
補助金収入	—	42,947
その他	21,817	38,560
営業外収益合計	61,098	151,869
営業外費用		
支払利息	68,290	89,624
為替差損	76,636	—
その他	18,999	32,038
営業外費用合計	163,926	121,662
経常利益又は経常損失(△)	47,655	△266,742
特別利益		
固定資産売却益	2,718	1,495
特別利益合計	2,718	1,495
特別損失		
固定資産売却損	493	354
固定資産処分損	476	626
訴訟関連損失	51,118	24,287
特別退職金	47,894	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	39,179
特別損失合計	99,983	64,448
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,608	△329,695
法人税、住民税及び事業税	68,477	91,398
法人税等調整額	△298	1,103
法人税等合計	68,179	92,502
四半期純損失(△)	△117,788	△422,197
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△117,788	△422,197

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△117,788	△422,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,894	325
為替換算調整勘定	△352,093	23,504
退職給付に係る調整額	△2,601	18,353
その他の包括利益合計	△358,589	42,184
四半期包括利益	△476,377	△380,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△476,377	△380,013

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,608	△329,695
減価償却費	610,155	605,278
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,063	3,540
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,547	△71,880
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,147	8,100
受取利息及び受取配当金	△13,362	△11,237
支払利息	68,290	89,624
為替差損益(△は益)	61,213	24,684
固定資産売却損益(△は益)	△2,225	△1,140
固定資産処分損益(△は益)	476	626
売上債権の増減額(△は増加)	218,693	373,027
たな卸資産の増減額(△は増加)	△301,584	23,579
仕入債務の増減額(△は減少)	202,174	△442,667
その他	△277,685	332,395
小計	519,003	604,235
利息及び配当金の受取額	13,391	35,946
利息の支払額	△38,848	△106,493
法人税等の支払額	△92,946	△118,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	400,599	415,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,310,974	△378,671
有形固定資産の売却による収入	3,544	3,977
無形固定資産の取得による支出	△3,888	△1,162
無形固定資産の売却による収入	1,396	597
投資有価証券の取得による支出	△300	△900
定期預金の預入による支出	△192,538	△147,657
定期預金の払戻による収入	324,780	271,447
その他	△61,899	6,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,239,881	△245,818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	418,154	△67,194
長期借入れによる収入	1,707,800	1,340,926
長期借入金の返済による支出	△1,434,380	△1,547,811
自己株式の増減額(△は増加)	△1,712	△186
配当金の支払額	△122,867	△42,176
その他	△19,433	△40,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	547,560	△357,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88,501	△16,659
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△380,223	△204,361
現金及び現金同等物の期首残高	2,864,283	1,971,289
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,738	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,496,799	1,766,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主要取引先の一時的な稼働停止で生産及び売上が減少しております。

上記影響があるものの、当連結会計年度内には回復が進んでいくものと仮定し、固定資産の減損損失等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、その影響が長期化した場合には、将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,250,877	1,179,604	1,013,905	4,028,972	10,473,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	650,822	216	48,869	146,767	846,676
計	4,901,700	1,179,821	1,062,774	4,175,740	11,320,037
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△36,556	△132,090	47,782	283,436	162,571

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	162,571
セグメント間取引消去	△12,088
四半期連結損益計算書の営業利益	150,483

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,510,327	917,553	930,129	3,058,258	8,416,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	269,228	509	50,785	124,279	444,803
計	3,779,556	918,063	980,915	3,182,538	8,861,073
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△181,383	△163,698	69,516	△37,298	△312,863

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△312,863
セグメント間取引消去	15,914
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△296,948

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。